

事務事業名		健康増進事業(健康診査関連事業)		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業			
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間			
	施策名	08 生涯にわたる健康づくりの推進					
	基本事業名	01 健康づくり活動の推進		単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和55 年度～)			
根拠法令		健康増進法		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入			
所属	部課名	保健福祉部健康増進課		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 <input checked="" type="radio"/> E 一般(A～D以外)			
	課長名	佐藤 かおり					
	係名	成人保健係	電話			0192-27-1581	
	担当者	佐藤 由美子	内線			-	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 対象住民に対して受診票を配布し健診を実施する。(会社の健診を受診する予定がある等、受診意向のない場合は配布しない) 健診結果をA(異常なし)、B(要指導)、C(要医療)の三区に分けて通知し、その後、受診者に対して生活習慣病予防講演会や事後指導会等を行って、疾病予防や重症化予防につなげている。 主な業務は、①健診の企画立案、②関係機関との連絡調整、③市民への周知、④申込受付、⑤市内地区公民館等での会場設営、⑥健診の実施、⑦健診機関への支払い、⑧健診結果の通知、⑨事後指導。 事業費は、健診委託料、結果通知の封筒代、一日人間ドックの健診委託料などに支出される。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
総投入量(千円)				国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0			
				正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0			
				トータルコスト(A)+(B) 0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 基本健康診査、肝炎ウイルス検診、歯周病検診、一日人間ドックを実施した。  今年度計画(今年度に計画している主な活動) 基本健康診査、肝炎ウイルス検診、歯周病検診、一日人間ドックを実施する。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 実施日数(基本健診、肝炎ウイルス検査、歯周病検診、一日人間ドック延べ日数)</td><td>日</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 実施日数(基本健診、肝炎ウイルス検査、歯周病検診、一日人間ドック延べ日数)	日	イ		ウ	
名称	単位								
ア 実施日数(基本健診、肝炎ウイルス検査、歯周病検診、一日人間ドック延べ日数)	日								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 基本健康診査は35歳～39歳の住民と40歳以上の生活保護受給者。(受診票は35～39歳は全員、それ以外は過去3年以内に受診歴がある者に通知する) 歯周病検診は20、30、40、50、60歳の住民。 肝炎ウイルス検診は40歳の住民。ただし、40歳以上でこれまでに検査を受けたことがない住民は受診できる。一日人間ドックは35歳～69歳の住民。	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 健診対象者数(20・30歳、35～69歳の住民)</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 健診対象者数(20・30歳、35～69歳の住民)	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 健診対象者数(20・30歳、35～69歳の住民)	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自分の身体の状態を知り、生活習慣の見直しを図り、健康づくりに取り組む意識を高める。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 健診受診者数(延人数)</td><td>人</td></tr> <tr><td>シ 健診対象者に対する受診率</td><td>%</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 健診受診者数(延人数)	人	シ 健診対象者に対する受診率	%	ス	
名称	単位								
サ 健診受診者数(延人数)	人								
シ 健診対象者に対する受診率	%								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 疾病を早期に発見できる。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	1,483	975	1,346	1,346	1,346	1,346
		地方債	千円						
		その他	千円	597	129	142	142	142	142
		一般財源	千円	2,590	2,804	3,403	3,403	3,403	3,403
		事業費計(A)	千円	4,670	3,908	4,891	4,891	4,891	4,891
	人件費	正規職員従事人数	人	8	9	9	9	9	9
		延べ業務時間	時間	870	1,030	900	900	900	900
		人件費計(B)	千円	3,480	4,120	3,600	3,600	3,600	3,600
		トータルコスト(A)+(B)	千円	8,150	8,028	8,491	8,491	8,491	8,491
⑤活動指標	ア	日	220	220	220	220	220	220	
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	人	16,870	16,019	16,500	16,500	16,500	16,500	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	人	1,021	787	1,000	1,000	1,000	1,000	
	シ	%	6.1	4.7	6.1	6.1	6.1	6.1	
	ス								

事務事業ID	0274	事務事業名	健康増進事業(健康診査関連事業)
--------	------	-------	------------------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 疾病の予防、早期治療を実施することにより、健康の保持と適正な医療の確保を図るため、昭和55年から実施。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 昭和57年に老人保健法が制定され、健康診査は保健事業として位置付けられた。  
 平成20年度には老人保健法が廃止され、健康診査やがん検診等が健康増進法に基づく健康増進事業として位置付けられた。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 事業の一層の周知と受診率の向上が求められている。  
 市内の歯科医から、若い世代の歯周病検診の受診者数が少ないと指摘を受けている。  
 市議会議員から健康教室の参加や各種健診等の受診にポイントを付与する健康ポイント制度の導入について要望されている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 市民一人ひとりが健康を保つことで安心して生活ができる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 健康増進法に基づき、市町村が実施に努める健康増進事業であり、関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 若い年代から適切な生活習慣を獲得することが健康で過ごすことの出来る期間の延長にもつながることから、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 より多くの対象者が受診することが、市民全体の疾病予防、重症化予防、医療費削減につながることから、向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事業を廃止すれば、住民は医療機関で健診を実施することになり、保険診療外となるため自己負担の増加し受診控えにつながる。また、医療機関は健診後に個別の生活習慣改善指導を実施することは困難である。このため、疾病の発見の遅れや重症化する者が増加するとともに、医療費増につながることから、事務事業の廃止・休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 令和3年度から特定健診・後期高齢者健診に合わせて心電図検査を検査項目から除外した。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 複数の健康診査を同時に行うことで、効率的な健診体制をとし、また、実施日の予定受診者数に応じた職員数としており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受診者から一部負担金を徴収することで、費用負担の適正化に努めている。生活保護受給者に対しては、一部負担金を免除している。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性 1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 各検診の受診率向上を図るため、受診しやすい環境づくりと対象者の意識啓発を推進する必要がある。 また、令和4年度からは特定健診受診率向上につながる取組として、36～39歳の国保加入者には、受診票の送付を行う。 健康ポイント制度の導入は、市民の健康意識の高揚による医療費削減効果が期待できる等の反面、マンパワの確保、システムを導入した場合のランニングコスト等が課題であり、早急な導入は困難である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 住民の健康への意識啓発の推進や受診体制の整備等により、行動変容や受診率の向上が期待できる。
-------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------